

令和元年5月北名古屋市教育委員会議事録

招集年月日	令和元年5月13日(月)
招集場所	北名古屋市役所東庁舎 3階 政策審議室
開 会	令和元年5月20日(月) 午前10時
応招委員 (出席委員)	<p>教育長 吉田 文明</p> <p>委員(教育長職務代理者) 池山 健次</p> <p>委員 加藤 知津子</p> <p>委員 大口 喜久子</p> <p>委員 鈴野 範子</p> <p>委員 岡島 秀隆</p>
不応招委員 (欠席委員)	
説明のため 会議に出席 した者の 職 氏 名	<p>教育部長 大野 勇、教育部参事 伊藤 圭樹</p> <p>教育部次長兼生涯学習課長 鳥居 竜也、教育部副参事兼学校教育課長 田島 孝道</p> <p>教育改革専門員 諸星 明彦、スポーツ課長 酒井 英昭、学校教育課主幹 安井 政義</p> <p>学校教育課主査 井上 公倫</p>
提出議案	議案第21号 北名古屋市社会教育委員の推薦について
閉 会	令和元年5月20日(月) 午前11時
議事日程	別紙のとおり
議事録 署名委員	<hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/>

議事録作成者.....

< 午前10時 開会 >

教育長（吉田文明）

只今の出席者数は6名で、定足数に達しております。よって会議は成立いたします。

只今から、令和元年5月北名古屋市教育局委員会を開会いたします。

日程第1、前議事録の承認を議題とします。

お諮りいたします。平成31年2月27日の議事録と、平成31年4月24日の臨時会の議事録を承認することにご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の声あり）

教育長（吉田文明）

全員異議なしと認め、前議事録は原案のとおり承認することに決定いたしました。各委員、署名をお願いします。

（教育長、各委員が前議事録に署名）

教育長（吉田文明）

それでは日程第2、教育長報告に移ります。(1)会議、行事等報告については、別紙をもって報告させていただきます。4月12日から5月20日までに出席した会議・行事等になります。4月21日、市中学生語学留学事業報告会として、グアムへ行った子どもたちの報告会がありました。例年思いますが、とても素晴らしい報告です。子どもたちが見違えるようになって帰って来て、しっかりと報告します。見違えるとは、とても積極的に発表に臨むということで、主体的で前向きになっています。語学留学を通じて人間性を豊かにするという点で優れた取組であると思っており、今回の報告もそういうことを感じる事が出来ました。4月24日の市辞令伝達式は、市職員の処分であり嚴重注意を行いました。5月8日の県辞令伝達式は、4月の臨時会において停職4月が決定され、言い渡しをしたものです。5月8日と翌日に報道がありましたが、この関係については後ほど報告させていただきます。5月11日と12日の妙高市艸原祭ですが、春が来たのを喜ぶ会として毎年開催されています。環境副大臣がご挨拶をされました。近隣市町の首長も来場し、まちを盛り上げようとする息吹を感じました。5月13日の豊かな学び創造推進委員会、コミュニティ・スクールの推進委員会の市全体会議です。学校教育課の水田教育指導員と生涯学習課の河口コーディネーターを中心に進めています。新たな展開について報告いたします。五条小のコミュニティ・スクールでファンドを作る目標が立てられました。今年度中にファンドを立ち上げられるだろうと思います。ファンドと言うと難しいのですが、五条小学校に教育基金、組織を作って寄附金を集め、様々な所に支援していこうとするものです。私としても、北名古屋市のコミュニティ・スクールとしても早く作り

たいと思っていました。この取組が呼び水となって市全体に広がればと思っています。市長も同意をしており、副市長や統括参事も成果に注目しています。5月15日の臨時市議会において、新しい教育委員の承認と議会の構成が決められました。5月18日、六ツ師敬老の集いがありました。私は初めて参加したのですが、驚いたことが1つあります。104回目ということで、大正から始まっているということに驚きました。以上となりますが、只今の報告について、何かご質問等ございませんか。

(しばらく間)

(2)その他報告に移ります。地区教育会等について、資料1をご覧ください。令和元年5月7日に地区教育会の総会等が行われ、西春日井地区教育会委員、西春日井地区教育委員会連絡協議会、西春日井地区公立小中学校保健管理連絡協議会の今年度の委員が決まりました。2年毎に清須、豊山、北名古屋と順番で役職が替わっていきます。本市は、昨年度までの2年間担当しましたので、今年度から2年間は清須市が担当します。都市教育長会（尾張・東海）についてですが、資料2をご覧ください。4月25日と26日に石川県小松市で開催されました。北陸3県、福井、石川、富山は似たような風土があり、地域活動、本市が実施している地域とともにある学校づくりの様なことを既に実施しています。しかし、国の基準に当てはまらないため登録はされていませんが、近いことは十分に実施していました。学校運営協議会、校長とともに学校運営に企画・提案することについて、二の足を踏んでいるようなところもあります。研究大会の事例研究発表では、愛知県春日井市の水田教育長が、春日井市立尾東小・中学校、児童自立支援施設「愛知学園」への学校教育導入から1年について、設立から現状までの報告がありました。児童養護施設である愛知学園、問題を抱えている家庭や本人自身が問題を抱えていることによって、生活を立て直そうとする施設ですが、実はそこに学校がありませんでした。学校に類するような授業は行っていました。学校としての授業は出来ておらず、再三再四、国から指導を受けており、愛知県も春日井市等に依頼していましたが、中々上手く進みませんでした。時期を経て、尾東小・中学校という名で、尾張部全域でこの学校を支えていくという共通認識をし、教員が各地区から派遣されています。尾張部の子どもたちがお世話になっています。教育は、質も高く行われており、子どもたちも笑顔を見せてやっているようで、順調に進んでいるという報告を受けました。資料3をご覧ください。尾張部都市教育長会議ですが、私は市行事と重なり欠席しました。資料は、県教育委員会のあいさつ要旨となります。1つ目は、新学習指導要領の全面実施に向けてとして、来年小学校が全面実施、再来年は中学校が全面実施となります。今年7月に小学校の教科書採択が行われます。2つ目は、教員の多忙化解消プランに関する進捗状況についてです。3つ目は、外国人児童生徒等の学習・就労支援の充実についてですが、これは愛知県特有の問題ではなく、東京はかなり進んでいます。愛知県は、外国人の児童生徒の多い状況です。10年以上前から国際課が、

将来的に日本に定住するかもしれないことを前提に教育を行うべきだという姿勢を持っておりました。しかし、残念ながら現場では理解することが出来ず、今もそういう状況が続いています。その理由は、予算的な加配措置というか、そのための教育環境を整えるための予算が十分確保出来ていないということもあって、前に進んでいないというのが現状だと私は思っています。4つ目の特別支援教育の充実については、昨年と今年、尾張部に2つ特別支援学校が出来ました。今年度は、岡崎市と安城市に特別支援学校を造るというか増築するということで、過密状態を何とか解決しようということなのです。愛知県は、特別支援学校の規模が過大すぎるということで、全国のワーストを占めており、懸案事項となっています。5つ目は、交通事故についてでございます。以上となりますが、只今の報告について、何かご質問等ございませんか。

(池山委員、挙手)

教育長（吉田文明）

池山委員、お願いします。

委員（池山健次）

尾東小・中学校の児童生徒数は分かりますか。

教育部参事（伊藤圭樹）

20人弱です。

委員（池山健次）

先生は何人いますか。

教育部参事（伊藤圭樹）

20人弱です。

委員（池山健次）

春日井市に多少の助成はあるのでしょうか。

教育長（吉田文明）

市教育委員会の所属になりますが、建物は県が造りました。

委員（池山健次）

愛知県立としても良い施設だと思います。

教育部参事（伊藤圭樹）

義務教育国庫負担制度というものがあり、市町の教員については給料を補填するというものがありますが、県立ではそれが出来なくなります。

教育長（吉田文明）

私は、愛知県が国の補助に頼らず造っても良い施設だと思います。施設の子どもたちにはそういうことは無いのですが、地域にとっては心配な部分もある施設のため、よく英断していただけたなと思います。

教育長（吉田文明）

次に、小中学校卒業者の進路状況について説明をお願いします。

学校教育課主査（井上公倫）

資料6をご覧ください。平成30年度北名古屋市小中学校卒業者の進路状況について説明させていただきます。表の上段が中学校を卒業した方、下段が小学校を卒業した方となっております。中学校の卒業者は、合計で843人です。内訳は、公立高校に522人、うち地元校は本市にある高等学校、西春高校になります。続いて私立高校、定時制、通信制、特別支援学校、専門専修等、就職、無業という区分としています。全体の61.9%の生徒が公立高校に進学しました。前年度は59.5%でしたので、公立学校へ進学率は微増となりました。私立高校では、昨年度は29.6%、今年度は25.3%であり、進学率は微減となりました。大きな変動として定時制が1.3%から2.7%に増えました。なお、公立高校については、国立高専も含まれますので、例えば豊田高専に進学された生徒が含まれています。下段の小学校では、卒業者は合計で812人です。市内中学校に進学した児童は792人、その他では、1人が特別支援学校、20人が国立、私立学校に進学しました。内訳として、本来通う中学校に数値が入っている表となっております。師勝小学校ですと4人が私立学校に進学、西春小学校ですと6人、以下順に各学校毎となっております。白木小学校は全員が市内の中学校に進学しました。また、表中の（）は就学校変更者であり、師勝東小学校を見ていただくと、縦の欄で訓原中学校に9とあり、本来は訓原中学校に通う生徒が、違う中学校として、師勝中学校に区域外の通学をしている生徒となります。師勝西小学校では、西春中学校に通うべき生徒1人と訓原中学校に通うべき生徒8人が、師勝中学校に区域外通学をしております。合計で18人が区域外の中学校に進学しました。説明は以上となります。

教育長（吉田文明）

只今の説明について、何かご質問等ございませんか。

委員（加藤知津子）

定時制について、昼間の定時制も含んでいますか。

教育長（吉田文明）

昼間も含んでいます、通信制についてはどうでしょうか。

教育改革専門員（諸星明彦）

通信制の数が多いのは、専修学校に進学した生徒が、技能連携校で高等学校卒業の資格を取る場合に数として挙がるため多いと思われます。愛知県立旭陵高等学校に通っている子も若干いますが、ほとんどが専修学校の技能連携校の数です。

教育長（吉田文明）

定時制高校は、どちらかというとな登校対策の定時制ですか。

教育改革専門員（諸星明彦）

昼間・夜間とも不登校の生徒と外国人の生徒が多く、勤労青年が通う学校ではないという様に聞いています。

教育長（吉田文明）

専門学校が多いのは愛知県の特徴です。手に職を付けた方が今後のためになるという考え方が強く続いていると思うのですが、いかがですか。

教育改革専門員（諸星明彦）

計画進学でよく言われることです。

教育長（吉田文明）

進学率は約93%と言われているが、どこの数値まで含みますか。

教育改革専門員（諸星明彦）

公立高校と私立高校です。

教育長（吉田文明）

本市の平成30年度は約88%、去年はどれくらいでしたか。

学校教育課主査（井上公倫）

89.1%です。

教育長（吉田文明）

達していないのことを課題と捉えるか、良しとすべきか、世間では進学率を話題にしています。本市、学校にとって、どう捉えていますか。

教育改革専門員（諸星明彦）

専修学校は、不登校の生徒や学力の低い子に対し丁寧に対応いただけるのが特徴です。公立高校や私立高校に進学してもついていけず途中でリタイアしてしまうのではないかとという子が最後まで頑張れる、一人ひとり丁寧に対応いただける特徴があるため、学校として、この生徒は私立高校へ行って背伸びするより、こちらの方で頑張る方が良いのではないかと指導されることは多いです。

教育長（吉田文明）

もう1つ大きいのは、公私のところで私立高校が30%を切った数値で推移しています。昔は、公立高校主義でしたが、今はそういう時代ではなくなり、トップクラスに公立高校と私立高校があります。下のクラスですと公立が多く、私立が少なくなります。高校の成績だけを見ると、公立の中抜け現象が起きているというくらいの状況です。単に公立高校に多く進学しているから学力がどうかと言う方が見えますが、現実を見ていないと、中学校長は思うでしょうし、私も思います。この比率をどう見るか、学力の面から見ると、全然当てはまらない議論にもかかわらず未だ議論されるのは、やはり現実をもう少しよく見てもらいたいと思います。それぞれの高等学校においては営業努力と言うか、努力をしなければいけないのは当然です。保護者としては、どう捉えていますか。

委員（鈴野範子）

私は、公立高校か私立高校のイメージ的なものは無いのですが、その先、大学を見据えた高校を選ばせています。高校受験で頑張って入った、一方で推薦で私立に入っても、大学が同じになったというケースがかなりありますので、高校の先を考えていかなければならないと思います。センター試験も変わっていきますが、高校に入った後の進学先の追跡はできませんか。

教育部参事（伊藤圭樹）

残念ながらできません。

教育長（吉田文明）

高校の学校全体で、大学の進学先を示す追跡は難しいです。しかしビッグデータの時代ですから、塾等はデータ分析に取り組んでいると思います。

委員（鈴野範子）

今、高校1年生の生徒から、受験で落ちたという話を多く聞きました。自分の意図と反した学校に進み、途中で退学してしまった生徒がどのくらいいるのが心配になります。進路指導の在り方、各学校の進路指導の先生は一生懸命やってらっしゃると思いますが、安全圏を推し進めているのか、本人の意向を尊重するのか、難しいとは思いますが、どうでしょうか。

教育改革専門員（諸星明彦）

私が学校現場でよく言っていたのは、数字だけで決めないように指示していました。評定がいくつで、実力がこれくらいだと合格できるだろうと判断しますが、そういった数字だけで決めるのではなく、学校ごとに特色があるため、その生徒に合う合わないがあります。多くの学校について、体験入学等で調べ、その学校のやっていることを見に行く、常に調べるのが大事です。しかし、合格するには学力が必要なため、その学校に行きたいと思っても合格できないかもしれませんが、そういう気持ち、取組が大事だと考え、指導しておりました。

教育長（吉田文明）

本市において時々聞くのですが、高校に入った後に、新たな出会いにより勉強し始め、驚くような大学に進学するケースをいくつか報告を受けるようになりました。よって、学力だけで物事を決めて、数値だけで決めてしまうようなことがやっぱり愚かしい側面があり、本人が納得するというのが大切です。もう1つ、高等学校が生徒たちの意欲をどうやって引き出すか、それは中学校で送り出す時にどうやって夢を持って送り出せるかということとも係わりがあるのですが、それは進路指導の原点、教育の原点というのをいつも探りながらやるべきだと思います。豊かになった日本では明確になってきました。昔はそのようなことをあまり考慮することは無かったのですが、今は割と幅のある指導をしていると思います。

教育長（吉田文明）

次に、教員の不祥事関係について説明をお願いします。

教育部参事（伊藤圭樹）

資料4、教職員の不祥事防止についてをご覧ください。5月10日付けで県から通知された文書です。1枚おめくりいただくと、公立学校教員の懲戒処分として、2ページに本市熊野中学校の教員の処分が示されております。盗撮に係る中学校教諭の処分、処分年月日は令和元年5月8日です。午前8時30分過ぎに本市を所管する尾張教育事務所の所長より、処分辞令が該当教諭に渡されました。停職4月です。その後速やかに該当教諭からの依頼退職願いを私が受理し、尾張教育事務所を通じて県教育委員会の教職員課に速やかに上げてまいりました。5月8日午前10時30分、県庁の記者プレスにて、県教職員課、私も同席し、緊急記者会見に臨みました。今年度初めての処分事案ということで、大変多くのマスコミの皆様が集まる中、1時間程度、県立学校の不祥事事案と本市を含む中学校教諭2つの事案について記者プレスを行いました。本市の事案については、報道各社から11月に起きた事案にもかかわらず、なぜこんなに処分のタイミングが遅いのかといった指摘、盗撮は停職3月の処分なのに対し4月とした理由を問う質問がありました。また、本人が最後まで否認をしていましたが、処分に至る

まで、マスコミからのリークによって検察庁に照会をかけて分かったことについて、リークが無ければ分からずじまいで終わったのではないかといった指摘がありました。これは、私が着任前の3月20日、報道番組で名古屋大学の教授が指摘したため、確認したといったことでした。私からは、11月の事件であるものの、明確に掌握したのは2月中旬であり、そして3月に入って本人からの聞き取り等々で判明しました。12月にマスコミから熊野中学校にこういった教員が居るかというお尋ねがあったため、当然その折に2回にわたり、また冬休み明けにも事情聴取をした訳ですが、該当教諭が一切認めなかったということを説明し、ご理解いただきました。停職4月については、本人が頑なに拒否し、認めなかったということで4月の処分になっていると教職員課が回答しました。この事案は分からずじまいで終わった可能性があるのではないかという指摘については、教職員課から現状の制度としては、そういう可能性は有りうると回答しました。市に戻り、午後7時から熊野中学校で緊急保護者会を開催しました。全校生徒約400名の中で、231名の保護者がお集まりになりました。当日のお昼頃の連絡であったにもかかわらず、多くの方がお集まりになりました。校長から事実が言い渡され、市教育委員会から学校を所管する私の立場から、改めて信用失墜行為のお詫びと今後に向けての決意を述べさせていただきました。保護者から、校内で盗撮は無かったかとの質問を受けましたが、これは明確に無かったことを確認しており、更に調査した結果においても無かったことを説明しました。また、こういう話を聞くと、特に女性は心を痛めトイレにも入りたがらないというご心配の声もありました。20分程度で正式な会は終わりましたが、その後、校長や私のところに入れ代わり立ち代わり保護者の方がお越しになり、個別にお話を聞かせていただきました。校長が丁寧に説明をしておりましたが、保護者の中には新しい校長には何の罪も無いので謝らなくても良いのではないかといったメールも送られました。翌日からは、スクールカウンセラーを流動的に熊野中学校に配置するとともに、さらに相談員や教育改革専門員、教育支援センターの職員も配置するなど市を挙げて生徒の心のケアに努めました。幸いにして大きな混乱は起きておりません。スクールカウンセラーへの相談としては、話をすることで解消できるものの、そういった友達がいらないためスクールカウンセラーを訪ねた生徒。また、こだわりが強く、自分の中で捨てきれなくなってしまうのではないかと心配する生徒の相談がありました。いずれも適切に対応していただき、学校現場では大きな混乱もなく、平常の授業を行っているところでございます。以上で説明を終わります。

教育長（吉田文明）

只今の説明について、ご質問等ございませんか。

委員（岡島秀隆）

ケアのことについて質問します。スクールカウンセラーを中心に対応したと思うのですが、追跡データをしっかりと整えていただきたいと思います。例えば、

どのくらいのペースで相談があったのか等を後に教えていただきたいです。もう1点、最近よく言われることですが、被害者はもちろんですが、加害者のケアとして何か対応されますか。

教育部参事（伊藤圭樹）

2点ご質問いただきました。1点目のスクールカウンセラーの件については、これは本事案だけではなく、毎月ストックされておりますので、必要に応じて担当からデータ等を集計し報告することは可能です。2点目について、加害者のケアについては正直どこまで出来ているか、どこまでするのか、どこまでしたいかという思いもあります。校長は当該教諭に対し、次の新たな人生に向けての話をしていました。私も面識は全くない教諭でしたが、事務所の処分の後に、一度リセットし、まだ若いので頑張ってくださいと話したところ、しっかりと目を見て、頑張りますと答えがありました。現在は、新たな業種の免許取得に取り組んでおり、次の職に気持ちを向けています。

教育長（吉田文明）

次に、市議会の関係についてお願いします。

教育部長（大野勇）

市議会関係について私からご報告させていただきます。5月15日に市議会の第2回臨時会が開催され、教育委員の任命及び監査委員の選任がされました。資料5の役職名簿をご覧ください。正副議長を始め、各常任委員会の委員の選任が行われました。議長には、永津正和議員、副議長には猶木義郎議員が就任されました。福祉教育常任委員会の委員長には渡邊幸子議員、副委員長には間宮文枝議員が就任されましたのでご報告させていただきます。また次ページには附属機関等に、各議員が配属され、教育委員会の関係では、北名古屋市通学区域審議会及び北名古屋市給食センター運営委員会の議員の方が決まりましたので、ご報告させていただきます。

教育長（吉田文明）

只今の報告について、何かご質問等ございませんか。

（しばらく間）

教育長（吉田文明）

日程第3、議案審議に移ります。

議案第21号北名古屋市社会教育委員の推薦について議題といたします。事務局から説明をお願いします。

教育部次長兼生涯学習課長（鳥居竜也）

議案第21号 北名古屋市社会教育委員の推薦について、次の者を北名古屋市社会教育委員に推薦する。

令和元年5月20日提出 北名古屋市教育委員会教育長 吉田 文明

提案理由 この案を提出するのは、北名古屋市社会教育委員設置条例第3条第2項の規定により、社会教育委員を委嘱する必要があるからでございます。よろしく申し上げます。

教育長（吉田文明）

第3条第2項の規定とは何ですか。

教育部次長兼生涯学習課長（鳥居竜也）

北名古屋市社会教育委員設置条例第3条に、委員の定数は10人以内とし、教育委員会が委嘱するとあります。第3条第2項第1号には学校教育及び社会教育の関係者、第2号が家庭教育の向上に資する活動を行うもの、第3号が学識経験のあるものとなっております。

教育長（吉田文明）

10人の定数のうち、3人の理由は何ですか。

教育部次長兼生涯学習課長（鳥居竜也）

学校教育関係者として校長先生とPTA代表、学識経験者の3の方が変わられたことにより、全委員の残任期間として、令和2年7月31日まで委員をお願いするものです。

教育長（吉田文明）

お諮りいたします。議案第21号 北名古屋市社会教育委員の推薦について、原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（全員「異議なし」の声あり）

教育長（吉田文明）

全員異議なしと認め、議案第21号 北名古屋市社会教育委員の推薦については、承認されました。

以上で議事を終了いたします。

連絡事項について、事務局から説明を受けることにします。

学校教育課主幹（安井政義）

○次回の会議について

教育長（吉田文明）

以上で、本日予定しておりました日程は、全て終了しました。

ここで、加藤委員と大口委員におかれましては、本日が最後の会議の出席となりますので、ご挨拶をお願いしたいと思います。

加藤委員、お願いします。

委員（加藤知津子）

私、この度一身上の都合で退任させていただくことになりました。在任中は教育長先生、委員の方々、事務局の皆様にご指導いただきまして、何とか今日まで無事に務めさせていただきました。今後は一市民として、北名古屋市の教育がますます充実いたしますようにお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

教育長（吉田文明）

大口委員、お願いします。

委員（大口喜久子）

私、12年の長きにわたり、大変貴重なお役を務めさせていただくことが出来ました。とても大きな心の財産となったと思っております。未熟な私をこれまで支えてくださいました教育長先生を始め、教育委員会の皆様、大変深く感謝しております。大変お世話になりました。ありがとうございました。

教育長（吉田文明）

ありがとうございました。我々が受け止めることが出来ないくらいのお言葉を頂戴いたしまして、自分自身どうお言葉をお返ししたらいいか分からないくらいです。とても思いの詰まったお言葉を頂戴いたしました。長きにわたり北名古屋市の教育を支えていただきました。ありがとうございました。

これをもちまして、令和元年5月北名古屋市教育委員会を閉会とします。

< 午前11時 閉会 >